

コミスク・ルーム&こみすく☆きっず

▶▶ キーワード コミスク・ルーム、居場所づくり、地域の拠点

取組概要

地域学校協働活動推進員を中心に地域の方がコミスク・ルームを企画・運営。コミスク・ルームでの活動を一緒にする「こみすく☆きっず」結成。コミスク・ルームを地域の拠点とした地域のネットワークづくり。



取り組みの詳細

- 子どもや学校が地域住民とつながる機会を作ることを目的にコミスク・ルームを設置。
- 毎週木曜日に開催。季節ごとのイベントはコミスク・ルームに来られる**地域の方が企画し運営。**
- 子どもたちも運営に携わりたいという思いから、R5年度から「こみすく☆きっず」を募集。地域の方と一緒にイベントの運営や準備に関わる。(R6年度 70名)
- 毎月第1木曜日は「相談日」として**東包括支援センター・稲葉山地区社会福祉協議会・鳥取市保健センター**の方に来ていただき、誰でも気軽に参加し、相談できる体制づくりを構築。
- **子どもの居場所づくり**にもなっている。

活動内容

- 学校内にコミスク・ルームを設置(毎週木曜日10:00~14:00開催)
- 地域住民と「こみすく・きっず」が一緒に準備し、季節ごとにイベントを開催(七夕、クリスマス、梅の収穫・梅ジュースづくり、棉の種植えetc)
- 第1木曜日は相談日。



● 成果・効果

- ・ 休憩時間の子どもの居場所となっている。
- ・ 「こみすく☆きっず」を中心に、子どもの自主性・責任感が育つ機会となっている。
- ・ 地域の方と児童・教職員の繋がりづくりが進んだ。

● 関係者の声

- ・ (先生) 地域の方から子どもたちの様子を聞くことで指導や手立てに役立てられる。
- ・ (先生) 地域の方との距離も近くなり、授業の相談(人探し)を気軽に相談できるようになった。
- ・ (地域の方) 子どもたちと顔見知りになり、名前で呼んでももらえるようになって嬉しい。

● 活動データ

- ・ 対象者：児童、地域の方
- ・ 企画・運営：地域学校協働活動推進員、学校支援ボランティア
- ・ 協力者：地域包括支援センター、社会福祉協議会、保健センター